

様式2 財産目録（例）

				社会福祉法人〇〇会
財 産 目 録（注1）				
I	資産の部			円
1	基本財産			円
	（内 訳）			
	（1）土地（注2）			
	m <sup>2</sup> 単価	円	総額	m <sup>2</sup> 円
	（2）建物（注3）			円
	（3）基本財産基金			円
2	運用財産			円
	（内 訳）			
	（1）建設自己資金			円
	（2）運転資金			円
	（3）法人事務費			円
	（4）什器備品（注4）			円
	（5）権 利			円
II	負債の部（注5）			0円
III	差引正味財産			円

（注1）法人設立時の贈与契約に基づき、法人が取得する財産について記載すること。

（不要な項目は削除する。）

（注2）土地は、不動産登記事項証明書のとおり1筆ごとに記入すること。

（注3）建物の贈与を受ける場合は、不動産登記事項証明書のとおり1筆ごとに記入すること。

（注4）什器備品の贈与を受ける場合に記載する。

（注5）負債を抱えての法人設立は原則として認めないため、0円となる。



記入例

社会福祉法人〇〇会

財産目録（注1）

金額や資産の内容が贈与契約書と一致しているか。

I 資産の部

円

1 基本財産

円

（内 訳）

（1）土地（注2）

不動産は、不動産登記事項証明書どおり、1筆、1棟ごと記載されているか。

m <sup>2</sup> 単価	円	総額	円
-------------------	---	----	---

（2）建物（注3）

立川市〇〇町〇丁目〇番地〇所在の建物	円
--------------------	---

（3）基本財産基金	0円
-----------	----

2 運用財産

200,000,000円

（内 訳）

（1）建設自己資金	500,000円
-----------	----------

（2）運転資金	17,000,000円
---------	-------------

（3）法人事務費	2,500,000円
----------	------------

（4）什器備品（注4）	0円
-------------	----

（5）権 利	0円
--------	----

II 負債の部（注5）

0円

III 差引正味財産

200,000,000円

負債を抱えていないか。  
※事業譲渡による設立の場合は、「未払金」「引当金」等の事業継承にかかる負債については内容を確認の上で適切なものは認められる。

（注1）法人設立時の贈与契約に基づき、法人が取得する財産について記載すること（不要な項目は削除する。）

（注2）土地は、不動産登記事項証明書のとおり1筆ごとに記入すること。

（注3）建物の贈与を受ける場合は、不動産登記事項証明書のとおり1筆ごとに記入すること。

（注4）什器備品の贈与を受ける場合に記載する。

（注5）負債を抱えての法人設立は原則として認めないため、0円となる。